

1 学校の教育目標

（学校の理念、教育目標）

- 1 保育に関する確かな専門性と実践力を身につけた保育者（幼稚園教諭・保育士）の育成
- 2 広い視野を持ち、豊かな人間性を備えた保育者の育成

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（本年度の重点目標と達成計画）

3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を遂行することにより、教育目標を達成する。

3 評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④	3	2	1
・学校において職業教育としての特色は明確に位置づけられているか。	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

すべて適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・学生便覧、学校案内（パンフレット）をはじめ、ホームページなどのSNS上でも適宜配信を行い、とくに本校の特色や活動内容について学内外に周知を図っている。
- ・模擬保育室を一般の親子に開放した「あそびの広場」を行うなど、保育者養成校として地域に貢献するとともに、学生の実践力や保育者になるための資質を高めた。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1

・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

教員の研究活動においては、それぞれの教員が研鑽を重ね、充実した研究紀要を発刊することができた。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

複数の教員が連携し、学生一人ひとりに様々な角度から丁寧なキャリア支援をおこなうことができた。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	④	3	2	1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題ない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・中学生、高校生を対象に、例年より多く模擬授業や出張授業などを行い、保育者という職業や専門学校について関心を高められるようにした。
- ・卒業生が訪問しやすい環境を作り、離職した卒業生には適宜復職へのアドバイスをを行っている。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	④	3	2	1

・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・模擬保育室テラスに人工芝や日よけタープの設置を行うことで、教育活動内容をさらに充実させることができた。
- ・防犯、防災の観点から、すみれ会館3階に内線電話を設置した。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当のものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・あそびの広場とオープンキャンパスを同時開催し、実際に子どもと関わることのできる機会を設定することで、保育者志望者の増加に繋がった。
- ・入試回数や入試区分について大きく改正し、その成果が十分に得られた。
- ・中学や高校への進路ガイダンスを積極的に行った。
- ・大手広告企業と契約をし、広報活動に力を入れたことにより資料請求等が増え、志願者が増加した。
- ・これからの多様化する社会で生きていく子どもたちへの保育・教育を踏まえ、18歳女性だけでなく、男性、社会人、既卒者など様々な属性の方へ間口を広げ、募集活動を行っている。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
------	------------------------------	--	--	--

・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

- ・模擬保育室を一般の親子に開放した「あそびの広場」を13回開催した。今年度は保護者の方が子どもと離れ、リラックスして過ごせる場を提供する企画を3回行い、子育て支援に力を入れた。
- ・文化祭での一般公開で、地域の親子・幼児・小学生などに向けて遊びのコーナーを設定し、誰でも楽しむことができる活動を行った。380人を超える参加者があった。
- ・学生が卒業研究として創作した劇を、地域の幼稚園児に向けて発表し、現場との交流を図ることができた。
- ・高校生が企画した保育の体験型イベントをはじめ、その他保育に関するボランティアに積極的に参加した。

(11) 国際交流 (必要に応じて)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きがとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

今年度の該当なし

② 今後の改善方策

③ 特記事項

今後受け入れの可能性がある場合は、国家資格、教員免許に関わることから慎重に検討していきたい。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校が掲げている「教育目標」及び、「3つのポリシー（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）」に重点を置いて今年度の教育活動を遂行し、すべての項目においておむね目標を達成できたと考えられる。

今年度は男女共学2年目となり、男子学生が全体で6名となった。整えた設備を大いに活用し、混乱や問題なく過ごすことができている。その他の設備関係では、一般の親子を対象に行っている「あそびの広場」を更に充実させるために改修した模擬保育室隣の男女共用のトイレや小児用のトイレ、手洗い場、おむつ交換台は有効的に活用され、老若男女問わず子育てに参加できる環境になっている。

「あそびの広場」は昨年度よりも多く実施でき、本校の象徴的な活動になっている。参加者からも好評をいただいております、この活動の継続を望む声を多数いただいている。親子支援、子育て支援に力を注ぐことで、学生の保育者としての資質の向上を図るだけでなく、今後も地域に根ざした保育の専門学校としての存在意義を確立していきたい。

これまで行ってきた社会人や既卒者、公共職業訓練生の積極的な受け入れも継続して行い、様々な属性の方に保育者を目指していただける養成校として広報を行った。本校の取り組みを、パンフレットやホームページ、インスタグラムにて広く発信したほか、併せて高校訪問や中学生への体験授業なども精力的に行えたことから、今後の保育職を目指す人材確保にも貢献できたと感じる。

教育活動では、学生が創作した劇などのパフォーマンスを実際に幼稚園児やその保護者に向けて発表を行うことで、保育現場との連携を図るとともに、より現場に近い学びを深めることができた。今年度の卒業生が全員「幼稚園教諭二種免許状」と「保育士資格」を取得し、専門職を希望する学生全員が専門職への就職を実現できたことも、本校のスローガンである「現場に一番近い学校」としての教育の成果が十分発揮できたものとする。また、今年度は公務員保育士試験対策講座を実施した成果が得られ、卒業予定者の20%が各自治体の公務員保育士に採用された。

教員の研究活動においては、外部研究費取得者もあり、共同研究や共同執筆も盛んにおこなわれた。それぞれの領域であげられた研究成果は、研究紀要「第17号」にて公開された。

今後も教育活動・研究活動ともに充実させていきたい。